

教 生 音 点 公 手



室 線 園 読 活 紙

--	--	--	--	--	--



【各一点】

二 □の中の かん字と、 □の中の かん字を 一つずつ 組み合わせて、かん字二字の ことばをつくり、 □に 書きましょう。

(3) 市 女



--

(4) 門 耳



--

(1) 田 心



--

(2) 青 日



--



【各一点】

一 つぎの 二つのかん字を 合体して できる かん字を □に 書きましょう。

くみ ばん	二年 こくご	きときと	ぷりんと ㊦
名まえ	かん字の 合体		
	/	10	

くみ ばん 名まえ

一 つぎの文に合う、ようすを あらわす ことばを

から

えらんで、 に 書きましょう。

【各一点】

ザーザー ごくごく パチパチ びりびり すいすい
 つるつる ふわふわ くるくる まるまる きらきら

(1) 弟は、 と およげるようになった。

(2) 風車が と 回っている。

(3) 夜空に 星が と かがやいている。

(4) 赤い 風船が と とんでいく。

(5) 手を と たたく。

(6) のどが かわいたので、水を と のむ。

(7) 雨が と ふっている。

(8) 紙を と やぶった。

(9) と太った 赤ちゃんが ねている。

(10) 道が こおって と すべる。



二年 こくご	きときと	ぷりんと ㊤	かん字を つかって 文を書こう
くみ	ばん	名まえ	
／			10

一 つぎの ひらがなの 文を 二年生までに ならった かん字を
 つかって、 に 書きなおしましょう。

〔全正 各二点〕

(例) おとうとは、げんきに がっこうへ いきました。

弟は、元気に 学校へ 行きました。

(1) ちゃいろの けをした うまが、はしっている。



(2) けらいは、つよく ゆみをひいて、やを はなった。



(3) ちちは、まいあさ しんぶんを よんでいる。



(4) のはらから、うしの なきごえが きこえる。



(5) けいさんの こたえを ただしく なおす。

